

# TOSTEM ガレージシャッター内部付 単窓枠(躯体直付)



## 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

### ■守っていただきたいこと

**▲注意** …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

### ▲注意



●シャッター本体の外れ・落下の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

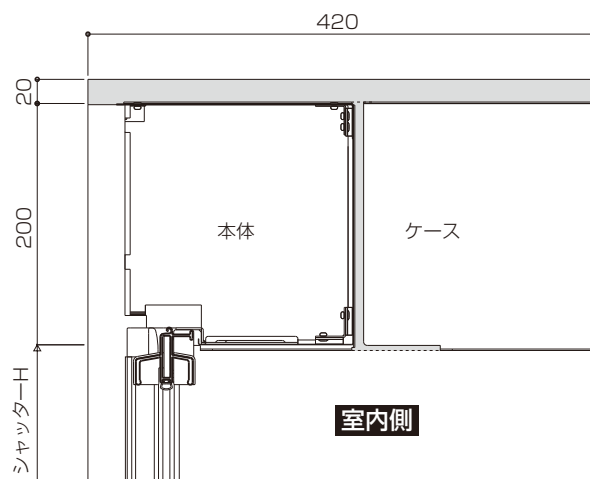
- ・製品と取付け対象の躯体が一致していることを確認してください。(製品には木造用・RC造用・鉄骨造用があります。)
- ・必ず指定のねじを指定の本数使用して取付けしてください。
- ・外枠・化粧まぐさのねじ止めは2.5N・m {25kgf・cm}以上のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ・(RC造)躯体に下穴をあける際には必ずφ3.4mmのコンクリートドリルを使用してください。(深さ35～40mm※下穴が広がらないよう注意)
- ・(鉄骨造)鉄骨の板厚が3.2mmを超える場合には、あらかじめφ3.5mmの下穴をあけてください。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

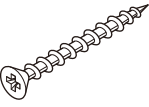
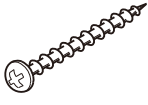





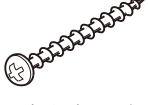


No.	チェック内容	
1	製品と取付け対象の躯体は一致していますか?	<input type="checkbox"/>
2	躯体へのねじの止め忘れはありませんか?	<input type="checkbox"/>
3	ねじは適正トルクで止められていますか?	<input type="checkbox"/>

### 保管・施工前のお願い

- ガレージシャッター取付け面は同一面としてください。一部に凹み等がある場合にはかい物などで調整してください。
- 基礎部にふさぎ工事、ハツリ工事、ねじ固定が必要になる場合がありますので、事前によく打ち合わせをしてください。
- シャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などのやり直しにつながるため、枠の水平・垂直を正確に出してください。
- モルタルはくり剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
- (土間埋込みタイプ)ガイドレールが取付けられなくなるので、土間面はガイドレール取付け後に仕上げてください。
- シャッター部分の取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。
- シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。



## ■ねじ一覧表

①		
 皿タッピンねじ φ4×35(木造用)	 コンクリートアンカーねじ φ4×32(RC造用)	 なべドリルねじ φ4×25(鉄骨造用)
②		
 トラスタッピンねじ φ4×35(木造用)	 コンクリートアンカーねじ φ4×32(RC造用)	 なべドリルねじ φ4×25(鉄骨造用)
③		
 トラスタッピンねじ φ4×12	 コンクリートアンカーねじ φ4×32	
④		
 ガイドレール抜け防止金具 (埋込なしタイプのみ)	 バインドドリルねじ φ4×14 (埋込なしタイプのみ)	

※③④はガイドレール施工後に使用します。

## ■推奨機器

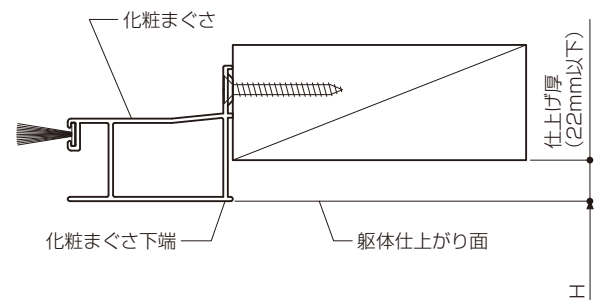
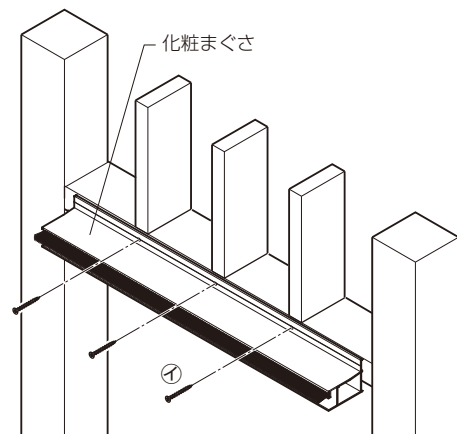
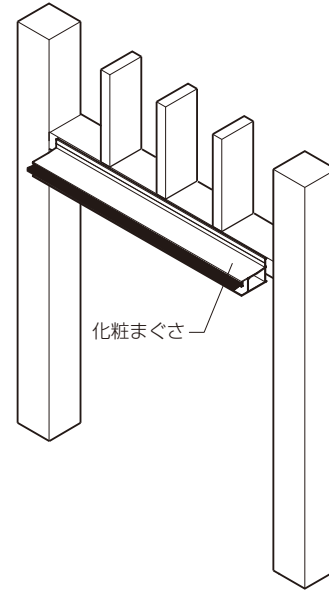


## ■化粧まぐさの取付け

●化粧まぐさの下端を躯体仕上がり面に合わせ、躯体からの左右の寸法を均等にし、化粧まぐさの水平を確認して①皿タッピンねじφ4×35(木造の場合)でねじ止めします。(RC造の場合：①コンクリートアンカーねじφ4×32、鉄骨造の場合：①なべドリルねじφ4×25)

※RC造の場合にはねじ止めの前にφ3.4mmのコンクリートドリルで35～40mmの下穴をあけてください。

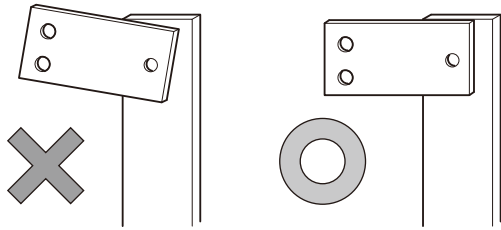
※鉄骨造で鉄骨の板厚が3.2mmを超える場合には、あらかじめφ3.5mmの下穴をあけてください。



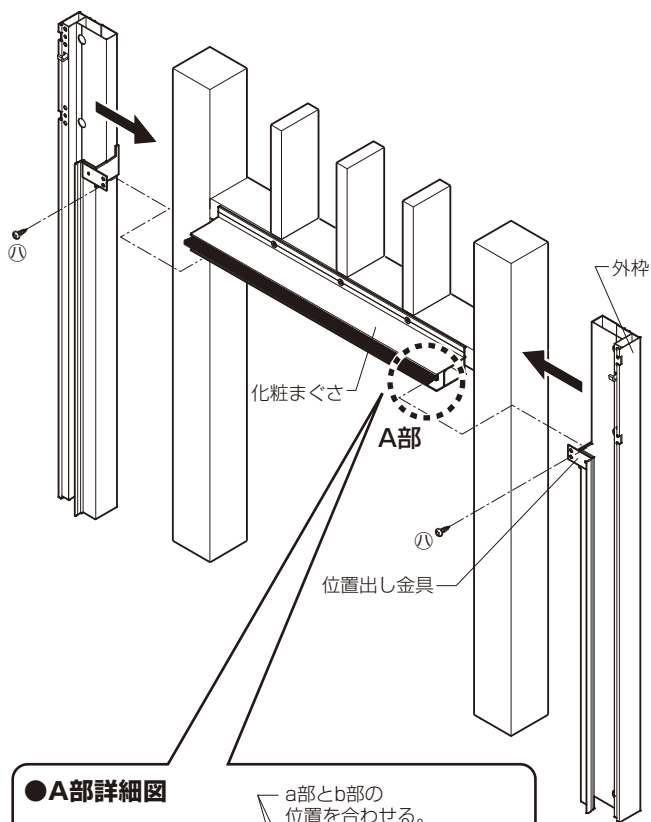
## ②外枠の取付け

### 外枠取付け上のお願

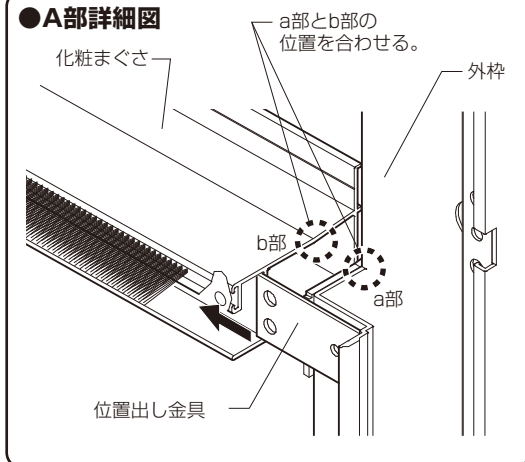
●位置出し金具がまっすぐになるように取付けてください。



①外枠の位置出し金具を化粧まぐさに横からスライドして合わせ、①トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 12$ で固定します。



### ●A部詳細図



②外枠の垂直を出し、躯体と直角になるように②トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 35$  (木造の場合)でねじ止めします。

(RC造の場合：②コンクリートアンカーねじ $\phi 4 \times 32$ 、鉄骨造の場合：②なべドリルねじ $\phi 4 \times 25$ )

※枠の固定は下げ振りなどで垂直を確認し、躯体と直角になるようかい物などで調整してください。

シャッターの作動不良の原因になります。

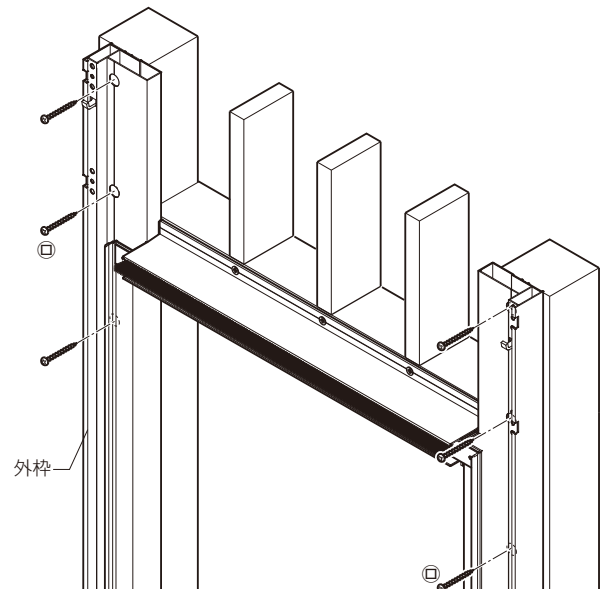
※固定部が基礎にあたる部分は $\phi 3.4$ で下穴(深さ35~40mm)をあけ、③コンクリートアンカーねじ $\phi 4 \times 32$ で固定してください。

※上・中・下部の開口寸法の誤差が $\pm 3$ mm以内であることを確認して調整してください。

シャッター作動不良の原因になります。

※RC造の場合にはねじ止めの前に $\phi 3.4$ mmのコンクリートドリルで35~40mmの下穴をあけてください。

※鉄骨造で鉄骨の板厚が3.2mmを超える場合には、あらかじめ $\phi 3.5$ mmの下穴をあけてください。



# MEMO

---